

A01N 人間または動物または植物の本体、またはそれらの一部の保存（食品または食料品の保存 A23）；殺生物剤、例．殺微生物剤、殺虫剤または除草剤として（望ましくない有機体の殺除あるいは成長または増殖を防止する医薬用、歯科用または化粧品用製剤 A61K）；害虫忌避剤または誘引剤；植物生長調節剤（殺虫剤と肥料の混合物 C05G）

注

- このサブクラスは以下のものを包含する：
 - ・組成物、物理的形態、特定物質の適用方法、あるいは単一化合物又は組成物の使用；
 - ・無脊椎動物、例．昆虫、を生殖不能にするための化学不妊剤、それ以外の目的の不妊剤はサブクラス A61K でカバーされる。
- このサブクラスは、栄養を与えることによってのみ植物の生長に影響を及ぼす物質、すなわち育成のために通常必要とされる肥料、または植物のミネラル欠乏症を防ぐため、または回復させるために用いる物質、たとえば鉄分の欠乏によるクロロシスを直すために添加する鉄キレートなどは、包含しない。こうした物質はクラス C05 に分類される。
- このサブクラスでは、下記の表現は以下に示す意味で用いる：
 - ・”植物生長調節剤”とは、オキシンのように植物の代謝を化学的に調節して植物を変える物質である。
- 化合物または合成から成る殺生物剤、有害生物忌避剤、有害生物誘引剤または植物生長調節剤活性は、さらにサブクラス A01P にも分類する。

サブクラス内の索引

人間または動物または植物の各部分の保存

1/00,3/00

殺生物剤；有害生物忌避剤または誘引剤；植物生長調節剤

物理的形態または適用方法..... 25/00

有機化合物を含むもの..... 27/00-57/00,61/00

無機化合物を含むもの..... 59/00

動物または植物の抽出物、微生物、酵素を含むもの
63/00,65/00

人間または動物または植物の本体、またはそれらの部分の保存

1/00 人間または動物またはそれらの各部分の保存

1/02 ・生体部分の保存

3/00 植物またはその各部分の保存、例．蒸発作用の抑制、葉の外見の改善（収穫した果実または野菜の保存または化学的熟成 A23B7/00）；接木用ワックス

3/02 ・切花を新鮮に化学的方法で長持ちさせること（そのための装置 A01G5/06）

3/04 ・接木用ワックスを用いるもの

殺生物剤；有害生物忌避剤または誘引剤；植物生長調節剤 [3]

(1) C セクションのタイトルの下の化学元素のグル - プの定義に注意する。[3]

(2) グル - プ A01N27/00-A01N65/00 までのグル - プにおいては、ラストプレース優先ル - ルが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、活性物質は、最後の適切な箇所に分類する。[3]

(3) 組成物、即ち 2 以上の活性物質の混合物は、これらの活性物質のうち少なくとも 1 つに当てはまるグル - プ A01N27/00-A01N65/00 のうちの最後の箇所に分類する。[8]

(4) 注(3)に従った分類によっては特定されないが、それ自体が新規かつ非自明と判断される組成物の一部分も、グル - プ A01N27/00-A01N65/00 のうちの最後の適切な箇所に分類しなければならない。当該部分は、単一の成分または組成物自体の何れかであり得る。[8]

(5) 注(3)または注(4)に従った分類によっては特定されないが、検索に有用な情報を表していると思われる組成物の一部分も、グル - プ A01N27/00-A01N65/00 のうちの最後の適切な箇所に分類してもよい。例えばこれは、分類記号の組合わせを用いた組成物の検索が可能となることが重要であると考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分类は、「付加情報」として付与される。[8]

(6) 化合物が互変異性体として存在すると記述されている場合は、その化合物は分類体系の最後の箇所に分類されている方の型の化合物で存在しているものとして分類する。[3]

(7) 一般式の択一的に特定された部分により異なったメイングル - プに含まれる化合物は、関連するメイングル - プの各々に分類する。[3]

(8) 2 個またはそれ以上の有機化合物間に生成した塩は、基本のイオンに解離する化合物として分類し、なお他のイオンとなる化合物としても分類する。[3]

(9) 有機化合物の塩または金属キレートはその化合物として分類する。[3]

(10) このサブクラスにおいては、栄養要素は活性成分として考えない。[3]

(11) 異なった時期に、順次用いられる種々の物質は、使用される全物質の混合物として考える。[3]

(12) 増強性または賦活性の組成物は、増強剤または賦活剤が活性成分であるものとして分類する。[3]

(13) A01N25/00-A01N65/00 までのグル - プにおいては、記号 X は窒素、酸素、硫黄またはハロゲンを示し、Y は窒素、酸素または硫黄を示す。原子間の点線は、任意の結合を示す、例 は 1 個または 2 個の単結合または 1 個の二重結合を示す。[3]

25/00 殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤または植物生長調節剤であって、その形態、または不活性成分または適用方法により特徴づけられたもの（殺菌用、殺バクテリア用、殺虫用、消毒用または防腐用の紙 D21H）；有害生物以外の有機体に対する活性成分の有害な影響を減少するための物質 [3]

25/00 101 ・不活性成分により特徴づけられるもの [25/02-25/34 に分類されないもの]（粘着性捕そく剤：薬効増強剤、植物細胞膜透過性への影響物質、保湿成分、肥料を含む農薬：種子コ - ティング剤中に含まれる農薬）[効力増強が植物への展着性によるもの 25/24]

25/00 102 ・適用方法により特徴づけられるもの [25/02-25/34 に分類されないもの]（方法のみのもの：適用時期（例．種子の休眠期）、適用対象部位（例．タバコの下葉に散布）、適用方法（例．作物傷部に挿入する殺菌方法）に特徴ある方法：農薬による種子コ - ティング方法：農薬利用率・摂取の増加方法：農薬使用順序に特徴ある方法）

25/02 ・担体、希釈剤または溶媒として液体を含むもの [3]

25/04 ・分散物またはゲル状物（泡 A01N25/16）[3]

25/04 101 ... 乳状のもの

25/04 102 ... 懸濁状のもの

25/04 103 ... ベースト状のもの；被膜を形成できるもの

25/06 ... エアゾール [3]

25/08 ・担体または希釈剤として固体を含むもの [3]

25/10 ... 高分子化合物 [3]

25/12	・粉剤または粒剤 (A01N25/26 が優先) [3]	29/12	・1,1 ジまたは 1,1,1 トリ ハロ 2 アリ ル エタンまたは エテンまたはその誘導体, 例 .DDT[3]
25/12 101	・粒子サイズに特徴があるもの	31/00	殺生物剤, 有害生物忌避剤または誘引剤, または植物生長調節剤であって有機酸素または硫黄化合物を含むもの [3]
25/14	・水和剤 [3]	31/02	・非環式化合物 [3]
25/16	・泡 [3]	31/04	・酸素または硫黄が炭素環系の脂肪族側鎖についたもの [3]
25/18	・遅効性または持続性の蒸気または煙発生組成物 [3]	31/06	・酸素または硫黄が直接環式脂肪族環系についたもの [3]
25/18 101	・揮散方法; 燻蒸方法	31/08	・酸素または硫黄が直接芳香族環系についたもの [3]
25/18 102	・揮散性防虫剤 (農薬の加熱を要しないもの)	31/10	・ペンタクロロフェノ - ル [3]
A	剤型 (平面状のもの B) 包装、容器	31/12	・ビスクロロフェノ - ル [3]
B	・平面状 (シ - ト, テ - プ)	31/14	・エ - テル [3]
C	物理的形狀、構造の特定されていないもの (効力指示 D)	31/16	・2 個またはそれ以上の酸素または硫黄原子が直接同一の芳香族環系についたもの [3]
D	効力指示	33/00	殺生物剤, 有害生物忌避剤または誘引剤, または植物生長調節剤であって有機窒素化合物を含むもの [3]
Z	その他のもの	33/02	・アミン; 四級アンモニウム化合物 [3]
25/18 103	・燻蒸散: 加熱蒸散剤 (農薬を間接加熱して有効成分を気化させるもの) (燻蒸と燻煙が区別できない場合は間接加熱 25/18,103, 直接加熱 25/20)	33/04	・窒素が直接脂肪族または環式脂肪族の炭素原子についたもの [3]
A	物理的加熱	33/06	・窒素が直接芳香族環系についたもの [3]
B	化学的加熱	33/08	・酸素または硫黄を含むもの [3]
C	物理的形狀、構造の特定されていないもの (効力指示 D)	33/10	・少なくとも 1 個の酸素または硫黄原子が直接芳香族環系についたもの [3]
D	効力指示	33/12	・四級アンモニウム化合物 [3]
Z	その他のもの	33/12 101	・窒素原子が直接脂肪族の炭素原子についたもの
25/20	・発火性または発熱性の組成物 [3]	33/12 102	・窒素原子が直接環式脂肪族環系についたもの
25/20 101	・燻煙剤 (燻蒸と燻煙が区別できない場合は間接加熱 25/18,103, 直接加熱 25/20)	33/12 103	・窒素原子が直接芳香族環系についたもの
25/22	・活性成分を安定させる成分を含むもの [3]	33/14	・窒素 ハロゲン結合を有するもの [3]
25/24	・活性成分の固着性を強化する成分を含むもの [3]	33/16	・窒素 酸素結合を有するもの [3]
25/26	・被覆された微粒子状の形態のもの [3]	33/18	・ニトロ化合物 [3]
25/28	・マイクロカプセル [3]	A	脂肪族ニトロ化合物
25/30	・表面活性剤により特徴づけられたもの [3]	B	芳香族ニトロ化合物
25/32	・有害生物以外の有機体に対する活性物質の有害な影響を減少する成分, 例, 毒性低下組成物, 自壊作用をもつ組成物 [3]	Z	その他のもの
25/34	・このメイングル - プ内の他のいかなるサブグル - プにも分類されない形態のもの, 例, シ - ト状のもの [3]	33/20	・酸素または硫黄がニトロ基を有する炭素骨格についたもの [3]
A	平面状 (シ - ト, テ - プ)	33/20 101	・炭素骨格が脂肪族または環式脂肪族であるもの
B	繊維状	33/20 102	・炭素骨格が芳香族環系を有するもの
C	錠剤	33/22	・少なくとも 1 個の酸素または硫黄原子と少なくとも 1 個のニトロ基が直接同一の芳香族環系についたもの [3]
Z	その他のもの	33/22 101	・その酸素または硫黄原子を介して更に直接芳香族環系がついたもの
27/00	殺生物剤, 有害生物忌避剤または誘引剤または植物生長調節剤であって炭化水素を含むもの [3]	33/24	・1 個の酸素原子が窒素原子についたもの [3]
29/00	殺生物剤, 有害生物忌避剤または誘引剤, または植物生長調節剤であってハロゲン化炭化水素を含むもの [3]	33/24 101	・四級アンモニウム基を有するもの
29/02	・非環式化合物または環式脂肪族環系の脂肪族側鎖についたハロゲンを有する化合物 [3]	33/26	・窒素 窒素結合をもつもの, 例, アジド, ジアゾ - アミノ化合物, ジアゾニウム化合物, ヒドラジン誘導体 [3]
29/04	・ハロゲンが直接炭素環系についたもの [3]		
29/06	・ヘキサクロロシクロヘキサン [3]		
29/08	・ハロゲンが直接多環系についたもの [3]		
29/10	・ハロゲンが芳香族環系の脂肪族側鎖についたもの [3]		

35/00	殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であって、異種原子と2個の結合をもちそのうち多くても1個がハロゲンとの結合である炭素原子を有する有機化合物を含むもの、例、アルデヒド基 [3]	37/24	... 同一の芳香族環系に直接ついた少なくとも1個の酸素または硫黄原子を有するもの [3]
35/02	・脂肪族的に結合したアルデヒド、ケト基またはそのチオ類似体を有するもの、その誘導体、例、アセタ-ル [3]	37/24 101	... 基 - CO - N< の炭素原子が環に直接ついたもの
35/04	・芳香族環系に直接ついたアルデヒド、ケト基またはそのチオ類似体を有するもの、例、アセトフェノン；その誘導体、例、アセタ-ル [3]	37/26	.. 基 $\begin{array}{c} \quad \quad \\ -\text{CO}-\text{N}-\text{C}\equiv\text{X} \cdots \\ \\ \vdots \end{array}$ を有するもの；そのチオ類似体 [3]
35/06	・環の一部としてケトまたはチオケト基をもつもの、例、シクロヘキサノン、キノン；その誘導体、例、ケタ-ル [3]	37/28	.. 基 $\begin{array}{c} \quad \\ -\text{CO}-\text{N}\equiv\text{X} \cdots \\ \\ \vdots \end{array}$ を有するもの；そのチオ類似体 [3]
35/08	・異種原子への結合のうち少なくとも1つが窒素へのもの [3]	37/30	.. 基 CO N< および $\begin{array}{c} \text{O} \\ \\ -\text{C}\equiv\text{X} \cdots \\ \\ \vdots \end{array}$ を有し、2者
35/10	.. 炭素 窒素二重結合を有するもの [3]		
37/00	殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であって、異種原子と3個の結合をもちそのうち多くても2個がハロゲンとの結合である炭素原子を有する有機化合物を含むもの、例、カルボン酸（シクロプロパンカルボン酸またはその誘導体を含むもの、例、シクロプロパンカルボン酸ニトリル、A01N53/00） [3]		ともその炭素原子によって同じ炭素骨格に直接ついているもの、例、 H_2N 、 NH 、 CO 、 C_6H_4 、 COOCH_3 ；そのチオ類似体 [3]
37/02	・飽和カルボン酸またはそのチオ類似体；その誘導体 [3]	37/32	.. 多塩基性カルボン酸の環状イミドまたはそのチオ類似体 [3]
37/04	.. 多塩基性のもの [3]	37/32 101	.. 環状イミドが5員環を形成するもの
37/06	・不飽和カルボン酸またはそのチオ類似体；その誘導体 [3]	37/34	・ニトリル [3]
37/08	・環式脂肪族環にその炭素原子により直接ついているカルボン酸基またはそのチオ類似体を有するもの；その誘導体 [3]	37/34 101	.. 非環式化合物
37/10	・芳香族または芳香脂肪族カルボン酸、またはそのチオ類似体；その誘導体 [3]	37/34 102	.. 環式化合物
37/12	・基 $\begin{array}{c} \quad \\ -\text{CO}-\text{O}-\text{C}\equiv\text{C}_n-\text{Y} \cdots \\ \\ \vdots \end{array}$ を有するもの、ここで C_n は環を含まない炭素骨格を示す；そのチオ類似体 [3]	37/34 103	... シアノ基が環に直接ついたもの
37/14	・基 $\begin{array}{c} \\ -\text{CO}-\text{O}-\text{C}\equiv\text{X} \cdots \\ \\ \vdots \end{array}$ を有するもの；そのチオ類似体 [3]	37/34 104	... その環に直接ついたハロゲン原子を有するもの
37/16	・基 $\begin{array}{c} \\ -\text{CO}-\text{O}-\text{Y} \equiv \\ \\ \vdots \end{array}$ を有するもの；そのチオ類似体 [3]	37/34 105	... その環に直接ついた酸素または硫黄原子を有するもの
37/18	・基 CO N< を有するもの、例、カルボン酸アミドまたはイミド；そのチオ類似体 [3]	37/34 106	... その環に直接ついたハロゲン原子および酸素または硫黄原子を有するもの
A Z	窒素にベンジル基の結合したもの その他のもの	37/34 107	... シアノ基が環に直接ついていないもの
37/20	.. 基 $\begin{array}{c} \quad \\ -\text{CO}-\text{N}\equiv\text{C}\equiv\text{C}_n-\text{Y} \cdots \\ \\ \vdots \end{array}$ を有するもの、ここで C_n は環を含まない炭素骨格を示す；そのチオ類似体 [3]	37/34 108	... - N = C< または - N = N - または - N< 結合を1つ以上有するもの
37/22	.. 芳香族環系に直接ついた窒素原子、例、アニリド [3]	37/34 109	... - N = C< または - N = N - または - N< 結合を有しないもの
37/22 101	... 基 - CO - N< の炭素原子が環に直接ついたもの	37/34 110	... - O - 結合を有するもの
		37/36	・少なくとも1個のカルボキシル基、そのチオ類似体またはその誘導体を含み、酸素または硫黄原子が単結合で同一炭素骨格についているもの、この酸素または硫黄原子はカルボキシル基、チオ類似体またはその誘導体の1員ではない、例、ヒドロキシカルボン酸 [3]
		37/38	.. 少なくとも1個の酸素または硫黄原子が芳香族環系についたもの [3]
		37/40	... 少なくとも1個のカルボキシル基、チオ類似体またはその誘導体と、1個の酸素または硫黄原子とが同一芳香族環系についたもの [3]
		37/42	・同一炭素骨格内にカルボキシル基、チオ類似体またはその誘導体と、異種原子と2個の結合のみ有しそのうち多くとも1個がハロゲンとの結合である炭素原子とを有するもの、例、ケトカルボン酸 [3]

- 37/44 ・少なくとも 1 個のカルボキシル基、チオ類似体またはその誘導体を含み窒素原子が単結合または二重結合で同一炭素骨格についているもの、この窒素原子はカルボキシル基の誘導体またはチオ類似体の 1 員ではない、例、アミノカルボン酸 [3]
- 37/46 ・N アシル誘導体 [3]
- 37/48 ・ニトロカルボン酸；その誘導体 [3]
- 37/50 ・炭素骨格に二重結合している窒素原子 [3]
- 37/52 ・基 $\text{X}-\text{C}=\text{N}-$ を有するもの、例、カルボン酸アミジン [3]

39/00

殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であって、基

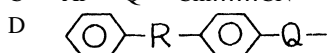


ルオキシ - またはアリ - ルチオ - 脂肪族または環式脂肪族化合物を含むもの、例、フェノキシエチルアミン、フェニルチオアセトニトリル、フェノキシアセトン [3]

A Ar - Q - Cm.....COO -

B Ar - Q - Cm.....CON<

C Ar - Q - Cm.....CN



E A-D の 2 つ以上の組合せ

Z その他のもの但し、Q:O,S,R:Q,CmH₂m,QCmH₂m,m 1

このグル - プにおいて、記号 C_n は芳香族環系を有しない炭素骨格を示し、n 2 である。 [3]

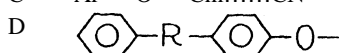
39/02

・アリ - ルオキシカルボン酸；その誘導体 [3]

A Ar - O - Cm.....COO -

B Ar - O - Cm.....CON<

C Ar - O - Cm.....CN

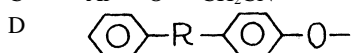


E A-D の 2 つ以上の組合せ

Z その他のもの但し、R:O,S,CmH₂m,OCmH₂m,SCmH₂m,m 1

39/04

・アリ - ルオキシ酢酸；その誘導体 [3]

A Ar - O - CH₂COO -B Ar - O - CH₂CON<C Ar - O - CH₂CN

E A-D の 2 つ以上の組合せ

Z その他のもの但し、R:O,S,CmH₂m,OCmH₂m,SCmH₂m,m 1

41/00

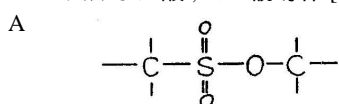
殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であって、異種原子に結合した硫黄原子を有する有機化合物を含むもの [3]

41/02

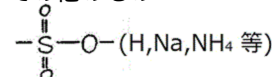
・硫黄 酸素二重結合を有するもの [3]

41/04

・スルホン酸；その誘導体 [3]



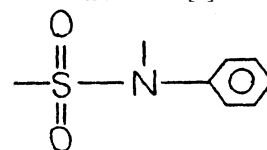
Z その他のもの



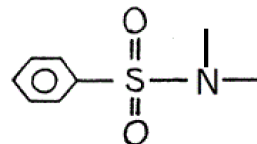
41/06

・・・スルホン酸アミド [3]

A



B



Z

その他のもの

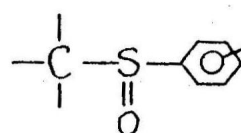
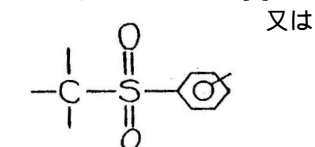
41/08

・・・スルホン酸のハロゲン化物； ヒドロキシ スルホン酸；アミノ スルホン酸；チオスルホン酸；その誘導体 [3]

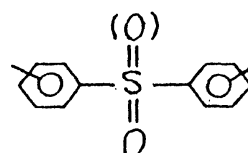
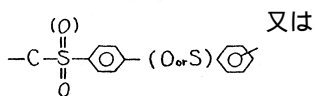
41/10

・・・スルホン；スルホキシド [3]

A



B



Z

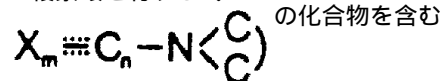
その他のもの

41/12

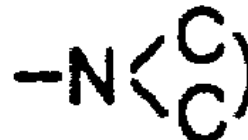
・硫黄 酸素結合をもたない、例、ポリスルフィド [3]

43/00

殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であって複素環式化合物を含むもの（環式無水物、環式イミドを含むもの A01N37/00；ただ 1 個の複素環を有する式



の化合物を含むもの、ここで m 1,n 0 であり、は非置換または



アルキル置換したピロリジン、ピペリジン、モルホリン、チオモルホリン、ピペラジンまたは 4 個またはそれ以上の CH₂ 基を有するポリメチレンイミン A01N33/00-A01N41/12；シクロプロパンカルボン酸またはその誘導体、例、複素環を持つエステル、を含むもの A01N53/00) [3]

(1) このグループにおいては、下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる：

“複素環”とは、少なくとも1個のハロゲン、窒素、酸素、または硫黄原子を環原子として含む環をいう；

“架橋”はオルソ、ペリ、スピロ以外の少なくとも1個の結合の存在を意味する；

少なくとも1個の環原子を共有する2個の環は縮合しているとする。すなわち、“スピロ”および“架橋”は縮合と考える；

縮合環系とは、環が相互に縮合している1個の環系をいう。[3]

(2) このグループにおいては、縮合環系の環の数はその環系を1個の非環式鎖に変換するに必要な切断の数に等しい。縮合環系における関連する環は、注の基準に従って順次選択する。[3]

(i) 環原子数が最少のもの

(ii) 環原子として異種原子の数が最多のもの2個以上の環が共有する環原子は各々の環の原子とみなす。[3]

- 43/02 ・異項原子として1個またはそれ以上の酸素または硫黄原子のみをもつ環を有するもの [3]
- 43/04 ・1個の異種原子をもつもの [3]
- 43/06 ・・5員環 [3]
- 43/08 ・・・異項原子として酸素をもつもの [3]

A ただし、
低級アルキル置換基があっても無視する

B

C ・

D ・

E ・

F ・例：環
の炭素原子にエステルまたはニ
トリルが結合したもの

G 水素添加されたもの

H

Z その他のもの

43/10 ・・・異項原子として硫黄をもつもの [3]

A ただし、
低級アルキル置換基があっても無視する

B

C ・

D ・

E ・

F ・例：環
の炭素原子にエステルまたはニ
トリルが結合したもの

G 水素添加されたもの

H

Z その他のもの

43/12 ・・・炭素環と縮合しているもの [3]

A 複素環部分が水素添加されたもの

B であって
A は O または S, B は O, S または
N であるもの

Z その他のもの

43/14 ・・・6員環 [3]

A 水素添加されたもの

B

C 炭素環と縮合したもの

Z その他のもの

43/16 ・・・異項原子として酸素をもつもの [3]

A 水素添加されたもの

B

C 炭素環と縮合したもの

Z その他のもの

43/18 ・・・異項原子として硫黄をもつもの [3]

A 水素添加されたもの

B

C 炭素環と縮合したもの

Z その他のもの

43/20 ・・・3 または 4 員環 [3]

43/22 ・・・7 員以上の環 [3]

43/24 ・・2 個またはそれ以上の異種原子をもつもの [3]

43/26 ・・・5 員環 [3]

43/28 ・・・1,3 の位置に 2 個の異種原子をもつもの [3]

43/30 ・・・1,3 の位置に 2 個の酸素原子をもつ炭素環と縮合したもの [3]

43/32 ・・・6 員環 [3]

43/34 ・異項原子として1個の窒素原子のみをもつ環を有するもの [3]

43/36 ・・5 員環 [3]

A 置換基をもつもの

B 水素添加されたもの

C


























Z その他のもの

43/38 ・・炭素環と縮合したもの [3]

43/40 ・・6 員環 [3]

43/40 101 ・・ピリジン；水素添加ピリジン

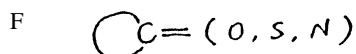
A

B	• 	F	• $\text{C}-\text{C}-\text{C} \in \begin{cases} (0, S, N) \\ (0, S, N) \\ (0, S, N) \end{cases}$, 例. 環 の炭素原子にエステルまたはニトリルが結合したもの
C	• 	G	• 環の炭素原子または窒素原子に、 複素環が結合したもの、または
D	• $\text{C}-\text{C} \in \begin{cases} (0, S, N) \\ (0, S, N) \\ (0, S, N) \end{cases}$, 例. 環 の炭素原子にエステルまたはニトリルが結合したもの		
E	• 		
F	• 	H	• 
G	• 	J	• 
H	• 	K	• 
I	• 	L	• 
J	• 	M	• 
K	• 	N	• 
L	• 	P	• 
M	• 	Q	• 
N	• 	Z	• 
P	• 		
Q	• 		
Z	•		
43/40 102	•		
43/42	•		
43/42 101	•		
43/42 102	•		
43/44	•		
43/46	•		
43/48	•		
43/50	•		
A	•		
B	•		
C	•		
D	•		
E	•		
F	•		
G	•		
H	•		
I	•		
J	•		
K	•		
L	•		
M	•		
N	•		
P	•		
Q	•		
Z	•		

- A $\text{C}-(\text{C}, \text{O}, \text{S}, \text{N})$
 B $\text{N}-(\text{C}, \text{O}, \text{S}, \text{N})$
 C $\cdot \text{N}$ -低級アルキル または
 N -低級アルケニル



E 水素添加されたもの

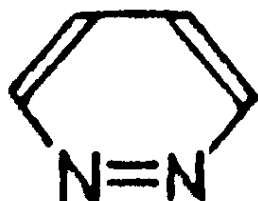


G 炭素環と縮合したもの

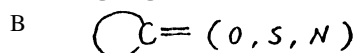
Z その他のもの

43/58 $\cdot \cdot 1,2$ ジアジン; 水素添加 1,2 ジアジン [3]

A で置換基を



もつもの



C $\cdot \text{環}-\text{N}-\text{C}=(\text{O}, \text{S}, \text{N})$ であって,
環が N に直接ついたもの

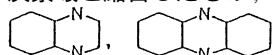
D $\cdot \text{環}-\{\text{C}=(\text{O}, \text{S}, \text{N})\}_n$ であって
,n が 2 以上であるもの

E 炭素環と縮合したもの

Z その他のもの, 例. 水素添加されたもの

43/60 $\cdot \cdot 1,4$ ジアジン; 水素添加 1,4 ジアジン [3]

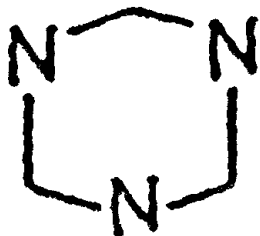
43/60 101 $\cdot \cdot \cdot$ 炭素環と縮合したもの,



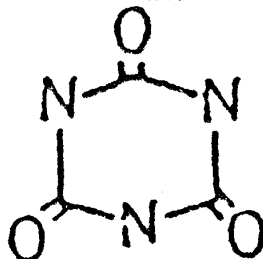
43/62 $\cdot \cdot 3$ もしくは 4 員環または 7 員以上の環 [3]

43/64 \cdot 異項原子として 3 個の窒素原子のみをもつ環を有するもの [3,4]

43/64 104 $\cdot \cdot$ 水素添加 1,3,5 トリアジン,

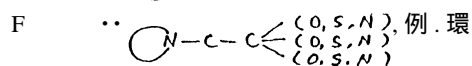
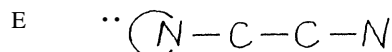
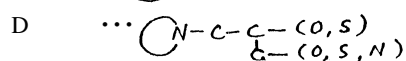
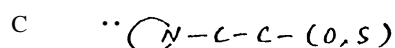
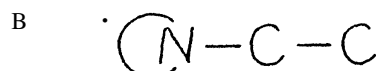


43/64 105 $\cdot \cdot \cdot$ イソシアヌル酸,



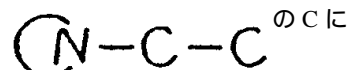
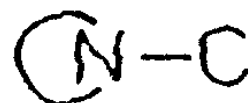
43/647 $\cdot \cdot$ トリアゾ-ル; 水素添加 トリアゾ-ル [4]

43/653 $\cdot \cdot \cdot 1,2,4$ トリアゾ-ル; 水素添加 1,2,4 トリアゾ-ル [4]

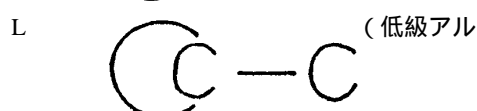
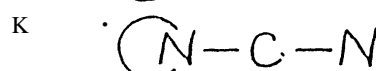
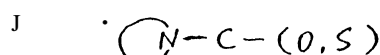
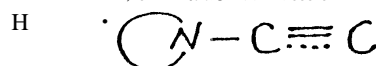


の炭素原子にエステルまたはニトリルが結合したもの

G $\cdot \cdot$ 環の炭素原子または窒素原子に, 複素環が結合したもの, または



, 他の複素環が結合したもの

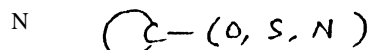
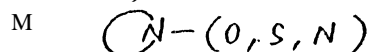


キルのみのとき,

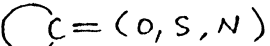
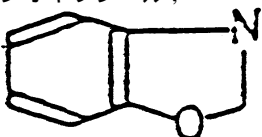
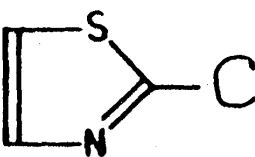
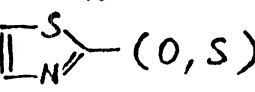
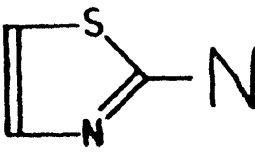
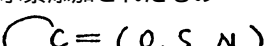
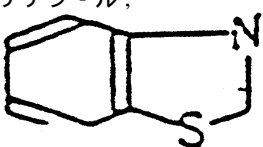
に結合し

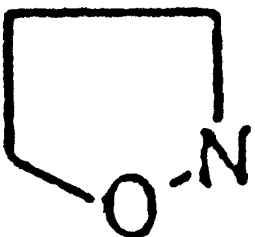

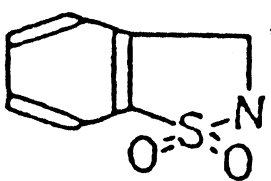
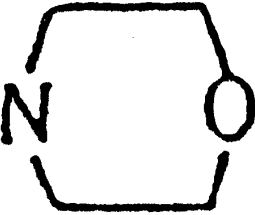


た低級アルキル以外の置換基であれば A01N43/653A-K を優先させる)

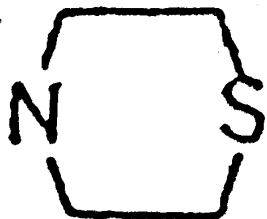


P 水素添加されたもの

- Q  $C = (O, S, N)$
- R $\cdot [C = (O, S, N)]_n$ であって
n が 2 以上であるもの
- Z その他のもの
- 43/66 ... 水素添加されておらずかつ環窒素原子
のところで置換されていない 1,3,5
トリアジン [3]
- 43/68 ... 環の炭素原子に直接ついた 2 個また
は 3 個の窒素原子をもつもの [3]
- 43/70 ... 環の炭素原子に直接ついた、ただ 1
個の酸素、硫黄またはハロゲン原子
、またはただ 1 個のシアノ、チオシ
アノ [SCN], シアナト [OCN] ま
たはアジド [N₃] 基をもつジアミ
ノ 1,3,5 トリアジン [3]
- 43/707 ... 1,2,3 または 1,2,4 トリアジン; 水素
添加 1,2,3 または 1,2,4 トリアジン
[4]
- 43/713 ... 異項原子として 4 個またはそれ以上の
窒素原子のみをもつ環を有するもの [4]
- 43/72 ... 異項原子として窒素原子および酸素ま
たは硫黄原子を有する環をもつもの [3]
- 43/74 ... 1 個の窒素原子と 1 個の酸素原子また
は 1 個の硫黄原子とを 1,3 の位置に有
する 5 員環 [3]
- 43/76 ... 1,3 オキサゾ - ル; 水素添加 1,3 オ
キサゾ - ル [3]
- 43/76 101 ... ベンゾオキサゾ - ル; 水素添加ベン
ゾオキサゾ - ル,

- 43/78 ... 1,3 チアゾ - ル; 水素添加 1,3 チア
ゾ - ル [3]
- A 置換基をもつもの
- B 
- C 
- D 
- E 水素添加されたもの
- F  $C = (O, S, N)$
- Z その他のもの
- 43/78 101 ... ベンゾチアゾ - ル; 水素添加ベンゾ
チアゾ - ル,

- 43/80 ... 1 個の窒素原子と 1 個の酸素原子また
は 1 個の硫黄原子とを 1,2 の位置に有
する 5 員環 [3]

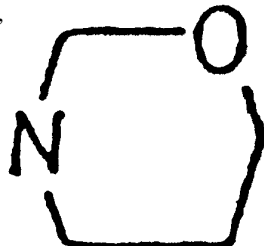
- 43/80 101 ... イソオキサゾ - ル; 水素添加イソオ
キサゾ - ル,

- 43/80 102 ... イソチアゾ - ル; 水素添加イソチア
ゾ - ル,

- 43/80 103 ... , 例 . サッ

- カリン
- 43/82 ... 3 個の異項原子を有する 5 員環 [3]
- 43/824 ... 1,3,4 オキサジアゾ - ル; 1,3,4 チア
ジアゾ - ル; 水素添加 1,3,4 オキサ
ジアゾ - ル; 水素添加 1,3,4 チアジ
アゾ - ル [6]
- A 環の炭素原子に、炭素原子が直接
結合したもの
- B 環の炭素原子に、酸素原子または
硫黄原子が直接結合したもの
- C 酸素原子または硫黄原子が、水酸
基、メルカプト基、オキシ基また
はチオキシ基の一部であるもの
- D 環の炭素原子に、窒素原子が直接
結合したもの
- E 環の炭素原子に、複素環が直接結
合したもの
- Z その他のもの
- 43/828 ... 1,2,3 オキサジアゾ - ル; 1,2,3 チア
ジアゾ - ル; 水素添加 1,2,3 オキサ
ジアゾ - ル; 水素添加 1,2,3 チアジ
アゾ - ル [6]
- 43/832 ... 1,2,5 オキサジアゾ - ル; 1,2,5 チア
ジアゾ - ル; 水素添加 1,2,5 オキサ
ジアゾ - ル; 水素添加 1,2,5 チアジ
アゾ - ル [6]
- 43/836 ... 1,2,4 オキサジアゾ - ル; 1,2,4 チア
ジアゾ - ル; 水素添加 1,2,4 オキサ
ジアゾ - ル; 水素添加 1,2,4 チアジ
アゾ - ル [6]
- 43/84 ... 1 個の窒素原子と 1 個の酸素原子また
は 1 個の硫黄原子とを 1,4 の位置に有
する 6 員環 [3]
- 43/84 101 ... 1,4 オキサジン; 水素添加 1,4 オキ
サジン,


43/84 102 ...1,4 チアジン; 水素添加 1,4 チアジン,

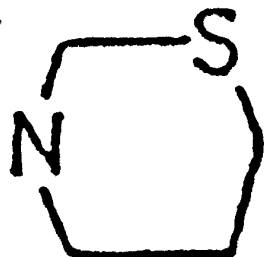


43/86 ...1 個の窒素原子と 1 個の酸素原子または 1 個の硫黄原子とを 1,3 の位置に有する 6 員環 [3]

43/86 101 ...1,3 オキサジン; 水素添加 1,3 オキサジン,

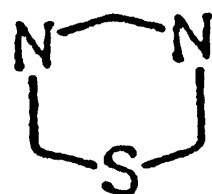
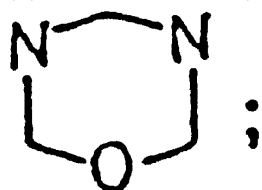


43/86 102 ...1,3 チアジン; 水素添加 1,3 チアジン,



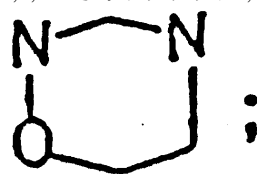
43/88 ...3 個の異項原子を有する 6 員環 [3]

43/88 101 ...1,3,5 オキサジアジン; 水素添加 1,3,5 オキサジアジン,



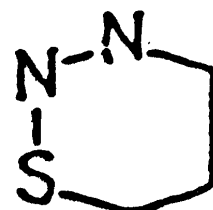
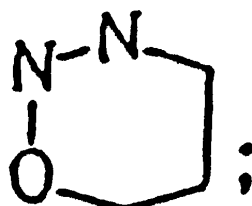
ジアジン; 水素添加 1,3,5 チアジアジン

43/88 102 ...1,2,4 オキサジアジン; 水素添加 1,2,4 オキサジアジン,



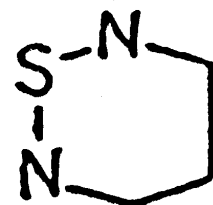
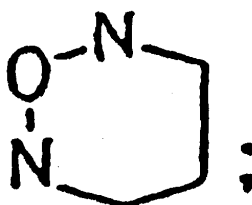
ジアジン; 水素添加 1,2,4 チアジアジン

43/88 103 ...1,2,3 オキサジアジン; 水素添加 1,2,3 オキサジアジン,



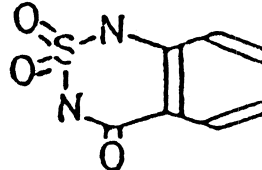
ジアジン; 水素添加 1,2,3 チアジアジン

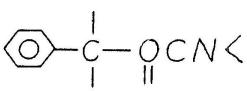
43/88 104 ...1,2,6 オキサジアジン; 水素添加 1,2,6 オキサジアジン,

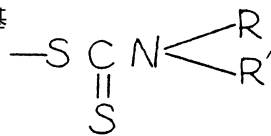
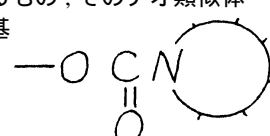


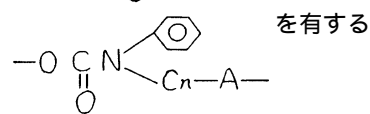
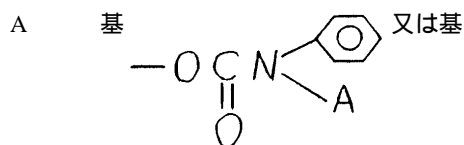
ジアジン; 水素添加 1,2,6 チアジアジン

43/88 105 ...2,1,3 ベンゾチアジアジン 4 オン 2,2 ジオキサイド,

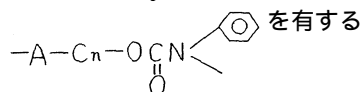
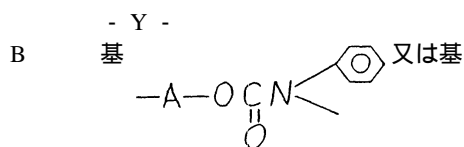
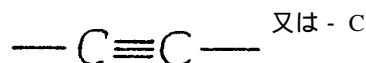
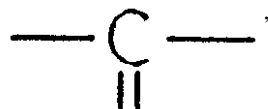


- 43/90 ・相互に、または共通の炭素環系と縮合している 2 個またはそれ以上の関連する複素環をもつもの [3]
- 43/90 101 ・縮合複素環系中に環窒素原子をもたないもの
- 43/90 102 ・縮合複素環系中に 1 個の環窒素原子をもつもの
- 43/90 103 ・縮合複素環系中に 2 個の環窒素原子をもつもの
- 43/90 104 ・縮合複素環系中に 3 個の環窒素原子をもつもの
- 43/90 105 ・縮合複素環系中に 4 個の環窒素原子をもつもの
- 43/90 106 ・縮合複素環系中に 5 個またはそれ以上の環窒素原子をもつもの
- 43/92 ・異項原子として 1 個またはそれ以上のハロゲン原子をもつ環を有するもの [3]
- 45/00 少なくとも 1 つの環が 6 員環ではなく、相互に縮合した 3 つ以上の炭素環を有する化合物を含有している殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤（ハロゲン化炭化水素 A01N29/08; 複素環と縮合したもの A01N43/00）[3]
- 45/02 ・3 個の炭素環を有するもの [3]
- 47/00 殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であって、環の一員でなくまた炭素または水素原子との結合をもたない炭素原子を含む有機化合物を含むもの、例、炭酸の誘導体（四ハロゲン化炭素 A01N29/02）[3]
- 47/02 ・窒素原子との結合をもたない炭素原子 [3]
- 47/04 ・ $>N-S-C-Hal_3$ 基をもつもの [3]
- 47/04 101 ・その窒素原子が環の一員であるもの
- 47/06 ・ $O-CO-O$ 基をもつもの; そのチオ類似体 [3]
- A 非置換脂肪族基又は、非置換環式脂肪族基に結合するもの
- B アリ - ル基を有するもの
- C ・アリ - ル基に直接結合するもの
- D 複素環を有するもの
- E 基 $-O-CO-O-Y-$ を有するもの; そのチオ類似体
- Z その他のもの
- 47/08 ・窒素原子への 1 個またはそれ以上の単結合をもつ炭素原子 [3]
- 47/10 ・カルバミン酸誘導体、すなわち $O-CO-N<$ 基を有するもの; そのチオ類似体 [3]
- A 農薬活性成分の混合物
- B 製剤; 不活性成分の混合
- Z その他のもの
- 47/12 ・ $O-CO-N<$ 基、またはそのチオ類似体を有し直接環についていないしまた窒素原子が複素環の 1 員でもないもの [3]
- A 基  を有するもの; そのチオ類似体

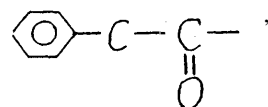
- B 基 $[O \text{ 又は } S]$
 $S-C_n-O-C(=O)N<$ を有するもの; そのチオ類似体
- Z その他のもの
- 47/12 101 ・... 複素環を有するもの
- 47/12 102 ・... 環異項原子として窒素原子をもつもの
- 47/14 ・... そのジチオ類似体 [3]
- A 基  を有するもの R, R' は、水素又は非置換アルキル基
- B 基 $-S-C(=S)-N(A)-N(C(=S)S-)$ を有するもの、A は 2 価の非環式残基
- C ・A が $(CH_2)_n$ C 基
- D ・農薬活性成分の混合物; 製剤; 不活性成分の混合
- Z その他のもの
- 47/16 ・... 窒素原子が複素環の一部であるもの [3]
- A 基 $-O-C(=O)N-(CH_2)_n$ を有するもの; そのチオ類似体
- B 基  を有するもの; そのチオ類似体
- Z その他のもの
- 47/18 ・... 複素環または環式脂肪族環に直接ついている $O-CO-N<$ 基またはそのチオ類似体を有するもの [3]
- 47/18 101 ・... 複素環に直接ついたもの
- A 複素環が異項原子として窒素原子のみを有するもの
- B ・窒素原子 2 個を有するもの
- C ・ベンズイミダゾ - ル
- D ・農薬活性成分の混合物; 不活性成分の混合
- Z その他のもの
- 47/20 ・... その N - アリ - ル誘導体 [3]



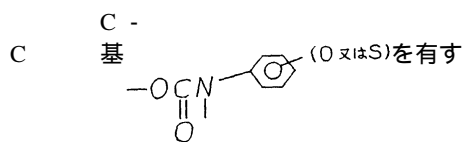
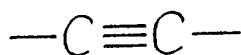
もの。A は炭素環、複素環、



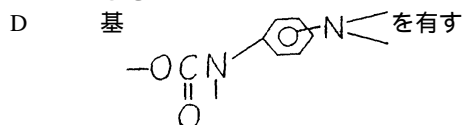
もの。A は脂肪族環、複素環、



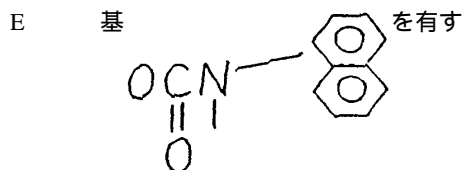
又は Y -



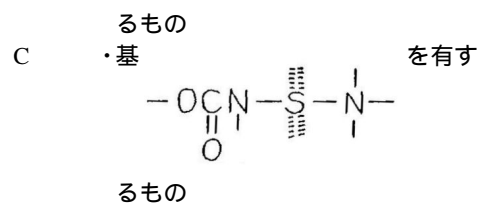
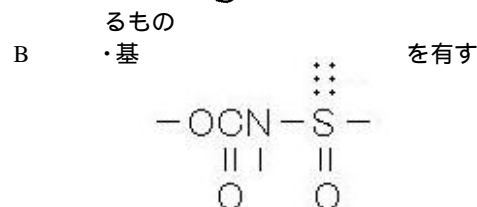
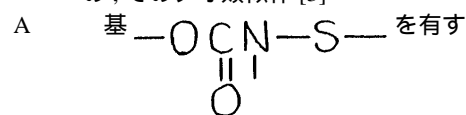
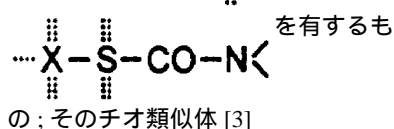
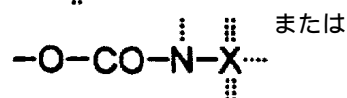
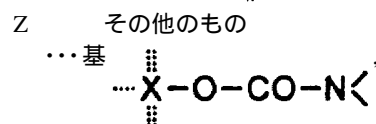
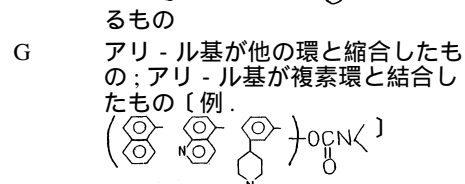
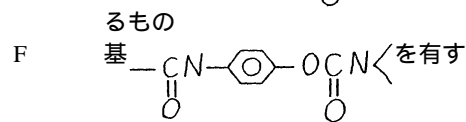
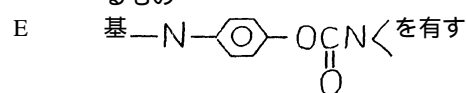
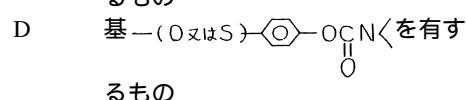
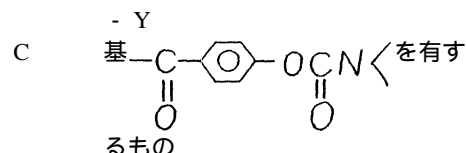
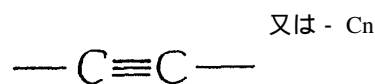
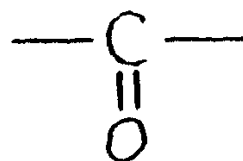
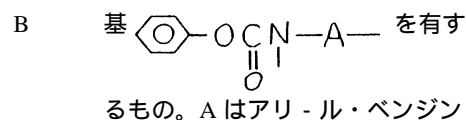
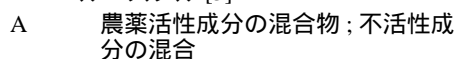
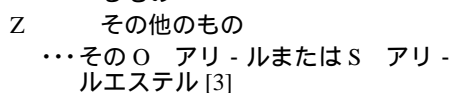
るもの



るもの




るもの


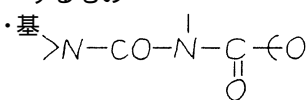
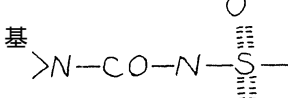
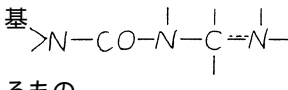
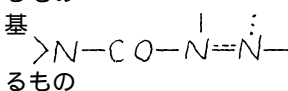
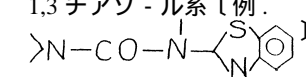
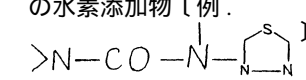
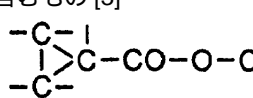
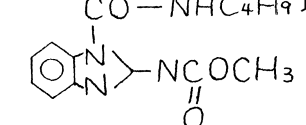


47/24

47/22

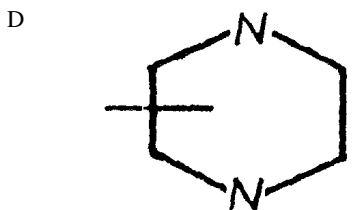
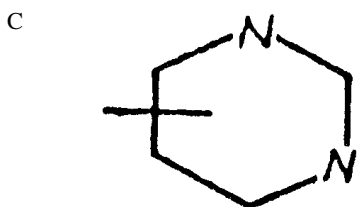
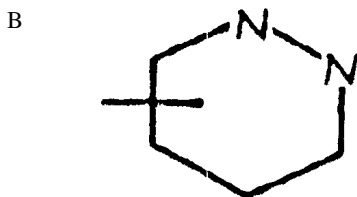
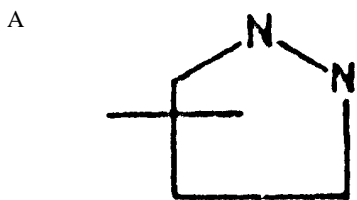
- D 基 $\begin{array}{c} | \\ -\text{OCN}=\text{N}- \end{array}$ を有するもの
- E 基 $\begin{array}{c} | \\ -\text{C}=\text{N}-\text{O}-\text{C}(=\text{O})\text{N}- \end{array}$ を有するもの
- F ・アリール基又は環式脂肪族基を有するもの
- G 複素環を有するもの
- H ・基 $\begin{array}{c} | \\ -\text{S}-\text{C}=\text{N}-\text{O}-\text{C}(=\text{O})\text{N}- \end{array}$ 又は基 $\begin{array}{c} | \\ -\text{C}-\text{C}=\text{N}-\text{O}-\text{C}(=\text{O})\text{N}- \end{array}$ を有するもの
- J ・基 $\begin{array}{c} | \\ -\text{C}=\text{N}-\text{O}-\text{C}(=\text{O})\text{N}-\text{S}- \end{array}$ を有するもの
- Z その他のもの
- 47/26 …ジチオカルバミン酸誘導体の酸化物、例、チウラムスルフィド [3]
- 47/28 …基 $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}<$ 又は $>\text{N}-\text{CS}-\text{N}<$ を有する尿素またはチオ尿素（イソ尿素、イソチオ尿素 A01N47/42） [3]
- A 農薬活性成分の混合物；不活性成分の混合
- Z その他のもの
- 47/28 101 …複素環を有するもの
- 47/28 102 …環異項原子として窒素原子をもつもの
- 47/30 …基 $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}<$ アリール又は $>\text{N}-\text{CS}-\text{N}<$ アリールを有する誘導体 [3]
- A 農薬活性成分の混合物；不活性成分の混合
- B 基 $\begin{array}{c} \text{B}_1 \\ | \\ \text{B}_2 \end{array} >\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\begin{array}{c} \text{B}_3 \\ | \\ \text{A} \end{array}$ を有するもの。A は Y を含まない基、B₁、B₂、A さらにアルコキシ基の場合を含む。
- $\begin{array}{c} \text{CH}_3\text{O} \\ | \\ \text{CH}_3 \end{array} >\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\begin{array}{c} \text{H} \\ | \\ \text{Cl} \end{array}$
- C 基 $\begin{array}{c} | \\ \text{C}_6\text{H}_5-\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$ 又は基 $\begin{array}{c} | \\ \text{C}_6\text{H}_5-\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\text{C}-\text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$ を有するもの
- D 複素環を有するもの

- E 基 $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\begin{array}{c} | \\ \text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$ (O又はS) 又は、
- 基 $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\begin{array}{c} | \\ \text{C}_6\text{H}_5 \end{array} (\text{CH}_2)_n$ を有する
- $-(\text{O} \text{又は} \text{S})-$
- もの。例
- $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\begin{array}{c} | \\ \text{C}_6\text{H}_5 \end{array}-\text{CH}_2-\text{C}(=\text{O})-\text{C}(=\text{O})-$
- F ・〔例 $\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ | \\ \text{H} \end{array} >\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\begin{array}{c} | \\ \text{C}_6\text{H}_5 \end{array}-\text{S}-\text{CF}_2\text{Cl} \text{〕}$
- G ・その残基として 又は
- 
- $-(\text{CH}_2)_n-\begin{array}{c} | \\ \text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$ を有するもの。例
- $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\begin{array}{c} | \\ \text{CH}_2-\text{C}(=\text{O})-\text{C}(=\text{O})-\text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$
- H 基 $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\begin{array}{c} | \\ \text{C}_6\text{H}_5 \end{array}-\text{N}-$ を有するもの
- Z その他のもの
- 47/32 …環式脂肪族環に直接つく $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}<$ 又は $>\text{N}-\text{CS}-\text{N}<$ 基を有するもの [3]
- 47/34 …基 $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\text{CO}-$ 、 $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\text{C}-\text{O}-$ 、 $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}=\text{S}-$ 、 $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}=\text{N}-$ 、 $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\text{C}-\text{N}<$ を有するもの、例、ピウレット；そのチオ類似体；尿素アルデヒド縮合物 [3]
- A 基 $>\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\begin{array}{c} | \\ \text{C}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$ を有するもの
- B ・基 $\begin{array}{c} | \\ \text{C}_6\text{H}_5-\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\text{C}-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_5 \end{array}$ を有するもの

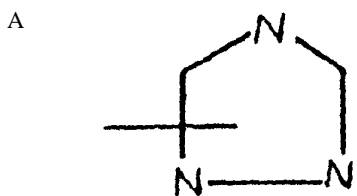
	C	…基  を有するもの	Z	その他のもの〔例〕 $\begin{array}{c} -N=C-S- \\ \\ S- \end{array} \quad -N=CF_2]$
	D	…基 	47/44	… グアニジン；その誘導体 [3]
			47/46	… N = C = S 基をもつもの [3]
	E	基  を有するもの	47/48	… S C N 基をもつもの (A01N43/00-A01N47/38 が優先) [3]
	F	基  を有するもの	49/00	次のいずれかの基を含む化合物を含有している殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤、例：幼若昆虫ホルモンまたはその類似体（炭化水素を含むもの A01N27/00） 上式において
	G	基  を有するもの		$\begin{array}{c} C \\ \\ \#C_n\#C^*-C^*-C^*\#C_m\# \\ \quad \\ X \quad X \end{array}$,m + n = 1 であり、2つのXはいっしょになって Y または直接炭素-炭素結合を意味することもあり、星印のついていない炭素原子は、2つの原子Xによって形成されることのある環系の場合を除いて、いかなる環系の一部でもなく、角かっこの中の炭素原子は、非環式または環式構造の一部である。 上式においては
47/36	Z	…その他のもの ……少なくとも1個の複素環に直接つく基 >N-CO-N< を有するもの；そのチオ類似体 [3]		$\begin{array}{c} A \quad C \\ \quad \\ \#C=C\#C\#C_n\#C\#C=C\# \\ \quad \\ Y \quad Y \end{array}$,A は1つの炭素原子またはYを意味し、n = 0 であり、これらの炭素原子のうち2つ以上の炭素原子が同じ環系の一部であることはない。 [3]
47/36 101		……複素環が環異項原子として窒素原子をもつもの		殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であって、各原子が有する結合の数に関係なくまたこの配列の原子が複素環の1部でない O N S,X O S,N N S,O N N または O ハロゲンの原子配列を有する有機化合物を含むもの [3]
	A	…異項原子として窒素原子を1個有するもの	51/00	殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であってシクロプロパンカルボン酸またはその誘導体を含むもの [3]
	B	…1,3 - チアゾ - ル系；水素添加 1,3 チアゾ - ル系〔例〕 		
	C	…異項原子として窒素原子を2個及び酸素原子、もしくは硫黄原子を1個有する5員環		
	D	…1,3,4 - チアジアゾ - ル、1,3,4 - オキサジアゾ - ル、又は、これらの水素添加物〔例〕 	53/00	殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であってシクロプロパンカルボン酸またはその誘導体を含むもの [3]
	E	…異項原子として窒素原子のみを2個又は3個有する6員環		
47/38	Z	…その他のもの ……少なくとも1個の窒素原子が複素環の一部であるところの >N-CO-N< 基を有するもの；そのチオ類似体 [3]	53/02	…  *印のついた
	A	…異項原子として窒素原子のみを有するもの	53/04	炭素原子が非環式か、環または環系の一部であるような基を含むエステル；そのチオ類似体 [6]
	B	…窒素原子を2個有するもの	53/04 100	…複素環を有するもの [6] …シクロプロパンカルボン酸エステルの酸部分にのみ複素環を有するもの
	C	…ベンズイミダゾ - ル〔例〕 	53/04 200	…シクロプロパンカルボン酸エステルのアルコ - ル部分に複素環を有するもの
	Z	…その他のもの〔O又はS含有複素環等〕	53/04 300	…… *印のついた炭素原子が非環式で、複素環または複素環系に直接結合したものであって、*印のついた炭素原子に直接結合する環が6員の芳香族環ではないもの
47/40		…窒素への二重または三重結合をもつ炭素原子、例：シアネ - ト、シアナミド（無機シアナミド A01N59/24） [3]	53/04 400	…… 複素環または複素環系が、環異項原子として酸素原子または硫黄原子のみを有するもの
	A	…イソニトリル〔R - NC〕	53/04 410	…… 複素環または複素環系上に、アリ - ル基またはアリ - ルアルキル基が結合したもの
47/42	Z	…その他 …… N = CX ₂ 基を有するもの、例：イソチオ尿素 [3]	53/04 500	…… 複素環または複素環系が、環異項原子として窒素原子のみを有するもの
	A	基  を有するもの (O又はS)-		

53/04 510 複素環または複素環系が、フタルイミドであって、複素環側で * 印の付いた炭素原子に結合しているもの	55/00	殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であって、炭素、水素、ハロゲン、酸素、窒素および硫黄以外の元素を有する有機化合物を含むもの（有機リン化合物を含むもの A01N57/00）[3]
53/04 520 複素環が 2,4 イミダゾリジンジオンであるもの	55/02	・金属を含むもの [3]
53/04 600 複素環または複素環系が、環異項原子として窒素原子と酸素原子または硫黄原子とを有するもの	55/02 100	.. ヒ素
53/06	.. * 印の付いた炭素原子が非環式で、6 員の芳香族環の炭素原子に直接結合したものの、例、ベンジルエステル；そのチオ類似体 [6]	55/02 110	.. 鉛
53/06 100	... 6 員の芳香族環が、単環であるもの	55/02 120	.. カドミウム
53/06 110 単環の 6 員芳香族環に、ハロゲンが結合したものの	55/02 130	.. ニッケル
53/06 120 単環の 6 員芳香族環に、酸素原子または硫黄原子が結合したものの（アリールオキシ基が結合したものの A01N53/08）	55/02 140	.. ビスマス
53/06 130 単環の 6 員芳香族環に、窒素原子が結合したものの	55/02 150	.. 亜鉛
53/06 140 単環の 6 員芳香族環に、環が直接結合したものの	55/02 160	.. 銅
53/06 150 単環の 6 員芳香族環がベンゼン環であり、さらにフェニル基が結合したものの、例、ピフェントリン	55/04	.. スズ [3]
53/06 200	... 6 員の芳香族環が、他の環と縮合しているもの	55/04 100	... スズに炭素原子のみが結合しているもの
53/08	... 6 員の芳香族環に結合したアリールオキシ基を有するもの、例、フェノキシベンジルエステル；そのチオ類似体 [6]	55/04 200	... スズに酸素原子が結合しているもの
53/08 100 6 員の芳香族環が、単環であるもの	55/04 210 酸素原子が水酸基の一部であるもの
53/08 110 シクロプロパンカルボン酸エステルの酸部分に不飽和結合を有するもの	55/04 220 Sn - O - Sn の構造を有するもの
53/08 120 不飽和結合を形成する炭素原子にハロゲンが結合するもの	55/04 230 Sn - O - CO - の構造を有するもの
53/08 125 ジクロルビニル基であるもの	55/04 300	... スズに硫黄原子が結合しているもの
53/08 130 シクロプロパンカルボン酸エステルの酸部分に、さらに環を有するもの	55/04 400	... スズにハロゲン原子が結合しているもの
53/08 200	... 6 員の芳香族環が、他の環と縮合しているもの	55/04 500	... スズに窒素原子が結合しているもの
53/10	.. A01N53/04 または A01N53/06 のグルーブに分類されないエステル [6]	55/04 600	... スズを含む高分子化合物
53/10 100	... シクロプロパンカルボン酸エステルのアルコール部分が、鎖状の不飽和炭化水素基を有するもの	55/06	.. 水銀 [3]
53/10 200	... シクロプロパンカルボン酸エステルのアルコール部分が、縮合していない脂肪族環を有するもの	55/08	・ホウ素を含むもの [3]
53/10 210 4 オキソ 2 シクロペンテン 1 イルエステル構造を有するもの、例、ピレトリン	55/10	・ケイ素を含むもの [6]
53/10 300	... シクロプロパンカルボン酸エステルのアルコール部分が、炭素環と縮合した脂肪族環を有するもの	55/10 100	.. ケイ素に、炭素原子が結合した酸素原子 3 個と、炭素原子 1 個が結合しているもの
53/12	$\begin{array}{c} \text{---C---I} \\ \\ \text{---C---} \end{array} \begin{array}{c} \diagup \\ \text{C} \end{array} \begin{array}{c} \diagdown \\ \text{C} \end{array} \text{---X} \begin{array}{c} \diagup \\ \diagdown \end{array}$ $\begin{array}{c} \text{Y} \end{array}$ において X または Y の少なくとも 1 つが窒素原子である基を含む化合物、例、シクロプロパンカルボン酸アミド [6]	55/10 200	.. ケイ素に、炭素原子 3 個と、酸素原子 1 個が結合しているもの
53/14	・シクロプロパンカルボン酸ニトリル [6]	55/10 300	.. ケイ素に 4 個の炭素原子が結合しているもの
		55/10 400	.. ケイ素に窒素原子が結合しているもの
		55/10 500	.. Si - O - Si の構造を有するもの
		57/00	殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であって有機リン化合物を含むもの [3]
		A	他の活性成分との混合物
		B	不活性成分との混合物
		Z	その他のもの
		57/02	・リン原子に結合する択一的に特定された原子をもつものであって、グルーブ A01N57/10, A01N57/18, A01N57/26, A01N57/34 の単一のグルーブには属さないもの [3]
		A	P - O - C _n - C = C - {n 0}
		B	P - O - C _n - {O,S,N} -, {n 0}
		C	・P - O - {O,S,N} -
		D	$\begin{array}{c} \text{P---O---C}_n\text{---C---} \end{array} \begin{array}{c} \diagup \\ \diagdown \end{array}$ $\begin{array}{c} \text{O} \end{array}$
		Z	その他のもの
		57/04	.. 非環式または環式脂肪族基をもつもの [3]
		57/06	.. 芳香族基をもつもの [3]

57/08	.. 複素環基をもつもの [3]
57/08 101	... 環異項原子として酸素または硫黄原子のみをもつもの
57/08 102	... 環異項原子として 1 個の窒素原子のみをもつもの
57/08 103	... 環異項原子として 2 個の窒素原子のみをもつもの



	Z	その他のもの
57/08 104	...	環異項原子として 3 個以上の窒素原子のみをもつもの



B , 縮合複素



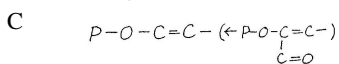
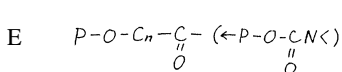
57/08 105 環 環
Z その他
…環異頂原子として窒素原子および酸
素または硫黄原子のみをもつもの

57/08 105 …環異項原子として窒素原子および酸素または硫黄原子のみをもつもの

57/10 ・リン 酸素結合またはリン 硫黄結合をもつもの (A01N57/02 が優先) [3]

A 有効成分の混合物

B 製劑, 使用方法


$$D \quad P - O - C_n - [O, S, N] - [n \quad 0]$$

$$\text{F} \quad \text{p-O}^{\ominus} \text{M}^{\oplus} (\leftarrow \text{p-O-C}_n\text{-N}^{\oplus} \rightleftharpoons)$$

Z その他のもの

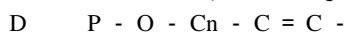
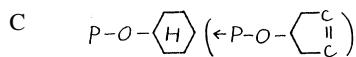
57/12 ・・非環式または環式脂肪族基をもつもの
[3]

A 混合物，製劑，使用方法

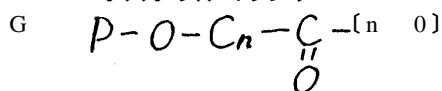
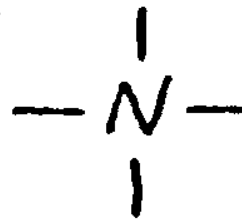
B $P-(OR)_3$ (R は非置



換アルキル, ハロゲン置換アルキル〕



F ・P - O - Cn - N<〔 レシチン，
 ホスホリルコリン〕


$$\text{H} \quad \begin{array}{c} \ominus \\ \text{P}-\text{O} \end{array} \quad \begin{array}{c} \oplus \\ \text{M} \end{array} \quad [\text{Mは金属}]$$


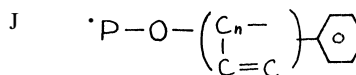
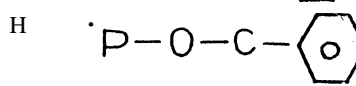
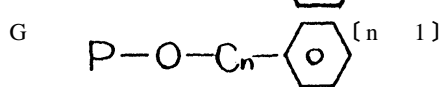
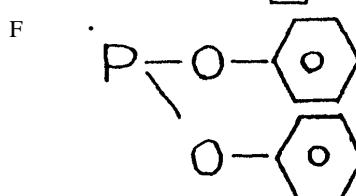
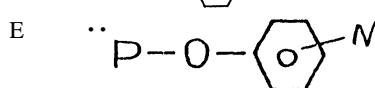
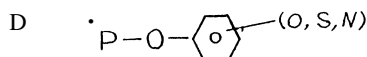
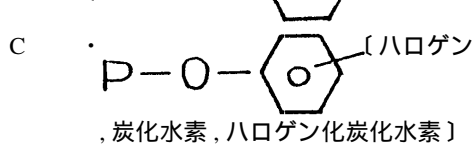
Z その他のもの

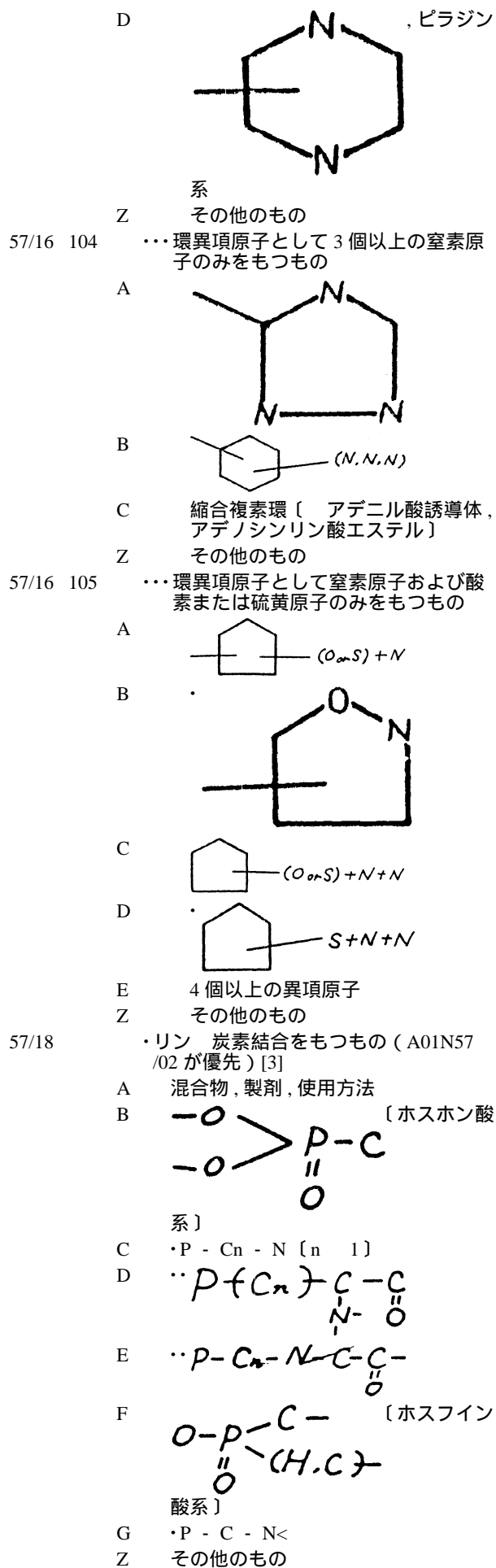
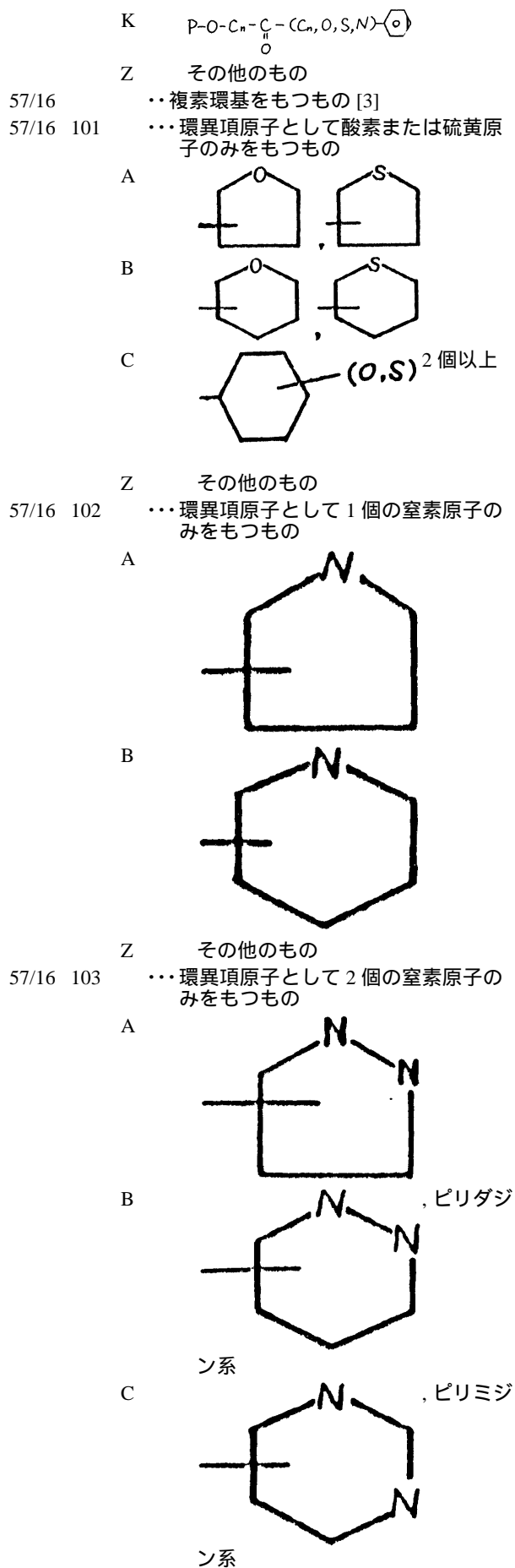
57/14 ..芳香族基をもつもの [3]

A 混合物，製劑，使用方法

B

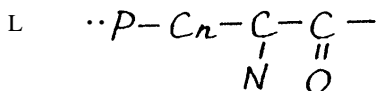
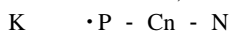
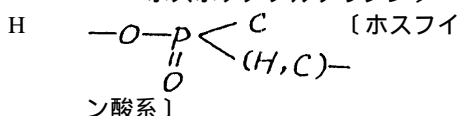
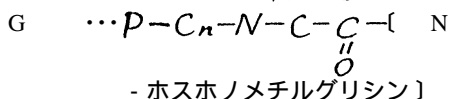
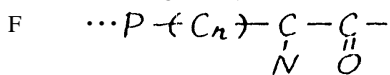
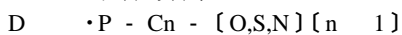
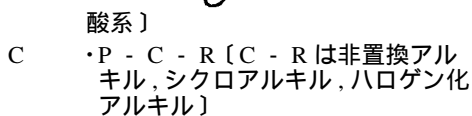
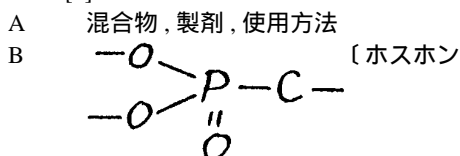
P(O)(O)Oc1ccccc1





57/20

..非環式または環式脂肪族基をもつもの
[3]

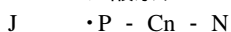
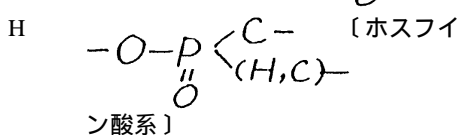
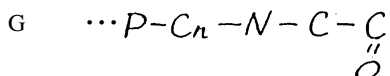
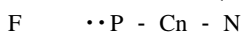
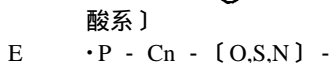
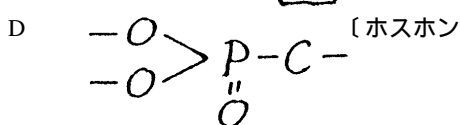
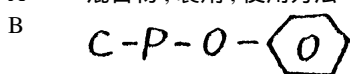


Z その他のもの

57/22

..芳香族基をもつもの [3]

A 混合物,製剤,使用方法



Z その他のもの

57/24

..複素環基をもつもの [3]

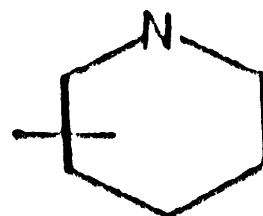
57/24 101

...環異項原子として酸素または硫黄原子のみをもつもの

57/24 102

...環異項原子として1個の窒素原子のみをもつもの

A



Z

その他のもの

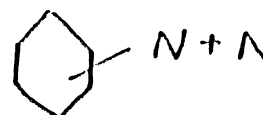
57/24 103

...環異項原子として2個の窒素原子のみをもつもの

A



B



Z

その他のもの

57/24 104

...環異項原子として3個以上の窒素原子のみをもつもの

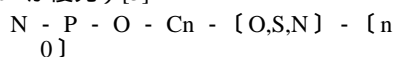
57/24 105

...環異項原子として窒素原子および酸素または硫黄原子のみをもつもの

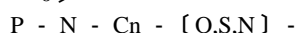
57/26

・リン 窒素結合をもつもの (A01N57/02 が優先) [3]

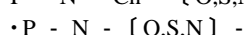
A



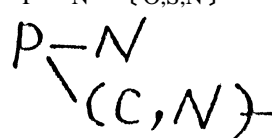
B



C



D



Z

その他のもの

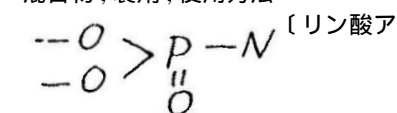
57/28

..非環式または環式脂肪族基をもつもの [3]

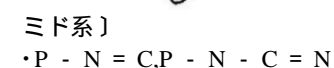
A

混合物,製剤,使用方法

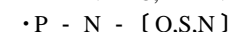
B



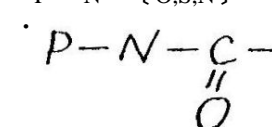
C



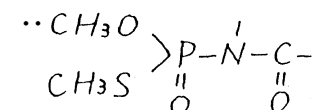
D



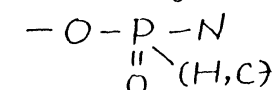
E



F



G



Z

その他のもの

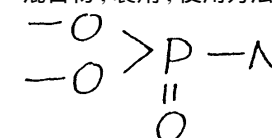
57/30

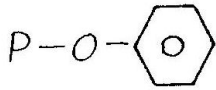
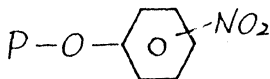
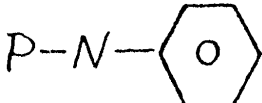
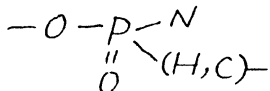
..芳香族基をもつもの [3]

A

混合物,製剤,使用方法

B



C	・		
D	・・		
E	・		
F	・P - N - Cn - {O,S,N} - {n 0}		
G	・・P - N - {O,S,N} -		
H			
Z	その他のもの		
57/32	・・複素環基をもつもの [3]		
57/32 101	・・・環異項原子として酸素または硫黄原子のみをもつもの		
57/32 102	・・・環異項原子として 1 個の窒素原子のみをもつもの		
57/32 103	・・・環異項原子として 2 個の窒素原子のみをもつもの		
57/32 104	・・・環異項原子として 3 個以上の窒素原子のみをもつもの		
57/32 105	・・・環異項原子として窒素原子および酸素または硫黄原子のみをもつもの		
57/34	・リン ハロゲン結合をもつもの; ホスホニウム塩 [3]		
57/36	・環員としてリンをもつもの [3]		
A	P - N 結合を含むもの		
Z	その他のもの		
59/00	殺生物剤, 有害生物忌避剤または誘引剤, または植物生長調節剤であって元素または無機化合物を含むもの [3]		
A	過酸化物		
B	金属化合物 [59/02-26 の特定の個所に含まれないもの]		
C	・アルカリ, アルカリ土類金属化合物		
D	N 含有化合物		
Z	その他のもの		
59/02	・硫黄; セレン; テルル; その化合物 [3]		
A	単体硫黄		
Z	その他のもの		
59/04	・二硫化炭素; 一酸化炭素; 二酸化炭素 (二酸化炭素による植物の処理 A01G7/02) [3]		
59/06	・アルミニウム; カルシウム; マグネシウム; その化合物 [3]		
A	石灰硫黄合剤		
Z	その他のもの		
59/08	・アルカリ金属の塩化物; アルカリ土類金属の塩化物 [3]		
A	[次] [亜] 塩素酸 [塩], さらし粉		
Z	その他のもの		
59/10	・ふっ化物 [3]		
59/12	・よう素, 例 . ヨ - ドフォル; その化合物 [3]		
59/14	・ほう素; その化合物 [3]		
59/16	・重金属; その化合物 [3]		
A	Ag		
Z	その他のもの		
59/18	・・水銀 [3]		
59/20	・・銅 [3]		
A	ボルド - 液, 硫酸銅		
Z	その他のもの		
59/22	・・ひ素 [3]		
59/24	・シアンまたはその化合物, 例 . シアン化水素, シアン酸, シアナミド, チオシアン酸 [3]		
59/26	・リン; その化合物 [3]		
61/00	殺生物剤, 有害生物忌避剤または誘引剤, または植物生長調節剤であって組成不明または未決定の物質, 例 . 作用によってのみ特定される物質, を含むもの [3]		
A	機能, 作用, 特定成分 [色]		
B	鉱物		
C	腐植泥		
D	高分子 [ワツクス]		
Z	その他のもの		
61/02	・鉱物油; タ - ル油; タ - ル; それらの蒸留物, 抽出物または転換物 (これらの原料より分離された単一化合物を含むもの A01N27/00-A01N59/00) [3]		
63/00	殺生物剤, 有害生物忌避剤または誘引剤, または植物生長調節剤であって, 微生物, ウイルス, 微生物菌類または動物を含むもの, あるいは微生物, ウイルス, 微生物菌類または動物によって生産された, またはそれらから採取された物質, 例 . 酵素または発酵生産物 (構造決定化合物を含むもの A01N27/00-A01N59/00; 単細胞の藻類 A01N65/03) [2020.01]		
このメイングル - プ内では, ラストプレイス優先ル - ルが適用されない, すなわち共通ル - ルが適用される			
63/10	・動物; 動物によって生産された, または動物から採取された物質 [2020.01]		
63/12	・・線虫 [2020.01]		
63/14	・・昆虫 [2020.01]		
63/16	・・クモ形類 [2020.01]		
63/20	・バクテリア; バクテリアによって生産された, またはバクテリアから採取された物質 [2020.01]		
63/22	・・パチルス [2020.01]		
63/23	・・・パチルス・チュ - リンゲンシス [2020.01]		
63/25	・・パエニパチルス [2020.01]		
63/27	・・シュ - ドモナス [2020.01]		
63/28	・・ストレプトミセス [2020.01]		
63/30	・微生物菌類; 微生物菌類によって生産された, または微生物菌類から採取された物質 [2020.01]		
63/32	・・酵母 [2020.01]		
63/34	・・アスペルギルス [2020.01]		
63/36	・・ペニシリウム [2020.01]		
63/38	・・トリコデルマ [2020.01]		
63/40	・ウイルス, 例 . バクテリオファ - ジ [2020.01]		
63/50	・分離された酵素; 分離された蛋白質 (ペプチド A01N37/46) [2020.01]		
63/50 100	・・分離された酵素		
63/60	・分離された核酸 [2020.01]		

65/00	殺生物剤、有害生物忌避剤または誘引剤、または植物生長調節剤であって、藻類、地衣類、蘚苔類、多細胞菌類または植物に由来する物質、またはそれらの抽出物を含むもの（構造決定化合物を含むもの A01N27/00-A01N59/00） [3,2009.01]	65/48	・・シヨウガ科、例・シヨウガまたはコウリョウキョウ [2009.01]
A	精油、草木からの抽出物		
D	由来不明の木酢液		
F	植物油		
G	果汁、タンニン		
H	きのこ〔担子菌類〕		
J	植物細胞培養物		
Z	その他のもの		
65/03	・藻類 [2009.01]		
65/04	・シダ植物門（シダ類） [2009.01]		
65/06	・球果植物門（裸子植物門）、例・イトスギ [2009.01]		
65/08	・モクレン綱（双子葉植物） [2009.01]		
65/10	・・セリ科、例・パセリ、キャラウェイ、ディル、ラビッジ、ウイキョウまたはスネークベッド [2009.01]		
65/12	・・キク科、例・ヒナギク、除虫菊、アティチョーク、レタス、ヒマワリ、ヨモギ、タラゴン [2009.01]		
65/14	・・ニシキギ科（ツルウメモドキ科）、例・オウシュウニシキギ、ツルナスまたはサンダーゴッドバイン [2009.01]		
65/16	・・ツツジ科、例・シャクナゲ、アルブス、アセビ、クランベリー、ビルベリー [2009.01]		
65/18	・・トウダイグサ科、例・ヒマ（トウゴマ） [2009.01]		
65/20	・・マメ科、例・エンドウ、ヒラマメ、大豆、クロバ、アカシア、アメリカサイカチ、デリスまたはナツフジ [2009.01]		
65/22	・・シソ科、例・タイム、ロズマリ、タツナミソウ、ウツボグサ、ラベンダー、シソ、メグサハッカ、ペパーミントまたはスペアミント [2009.01]		
65/24	・・クスノキ科、例・ゲッケイジュ、アボカド、サッサfras、シナモンまたはショウノウ [2009.01]		
65/26	・・センダン科、例・マホガニー、ランサットまたはニム [2009.01]		
65/28	・・フトモモ科（ギンバイカ科）、例・ティーツリーまたはクロブ [2009.01]		
65/30	・・タデ科（ソバ科）、例・レッドニーズまたはダイオウ [2009.01]		
65/32	・・キンボウゲ科、例・スハマソウ、ヒドラステス（ゴルドンシール） [2009.01]		
65/34	・・バラ科、例・イチゴ、サンザシ、スモモ、サクラ、モモ、アンズまたはアモンド [2009.01]		
65/36	・・ミカン科、例・ライム、オレンジ、レモン、キハダまたはサンショウ [2009.01]		
65/38	・・ナス科、例・イヌホウズキ、トマト、タバコまたはチリペッパー [2009.01]		
65/40	・ユリ綱（単子葉植物） [2009.01]		
65/42	・・アロエ科またはユリ科、例・アロエ、シュロソウ、タマネギ、ニンニクまたはチャイブ [2009.01]		
65/44	・・イネ科、例・タケ、レモングラスまたはシトロネラグラス [2009.01]		
65/46	・・ビャクブ科、例・ナベワリ [2009.01]		

